

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立晴嵐小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

国語・算数・理科ともに全国平均を上回る結果であった。特に、理科で良い傾向を示している。また、本校の課題である学習意欲に関しても改善が見られた。質問調査では、全国や滋賀県の状況と比較して、自尊感情・規範意識・自己有用感が大変良い傾向を示している。家庭・地域と連携を図りながら進めている日常的な教育活動の成果が現れていると考えられる。

《強み・弱み：学習の領域別結果や児童質問調査結果より》

＜学習に関わること＞

本校の強みとしては、選択式問題と同様に記述式問題の正答率が高いことから、筋道立てて考え、表現する力が身につけていることが挙げられる。また、「話し合い活動を通して考えを深めたり新たな考え方に気づいたりすることができている」と感じている児童の割合が、全国や滋賀県の状況と比較して、大変高く、良い傾向を示している。本校で推進している学び合い学習の成果が現れていると考えられる。一方、「家庭における自主的な学習の時間」については、依然として全国平均をやや下回っている。

＜生活に関わること＞

自尊感情や規範意識においては、「自分には良いところがありますか」や「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という項目で、9割近くの児童が肯定的な回答をしており、よい傾向である。これまで低い傾向であった、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という項目で、強い肯定の回答が全国平均を大幅に上回ったことから、児童のよいところを認め、長所を生かす活動を継続していきたい。

◇全国学力・学習状況調査をもとにした重点取組事項◇

1. 学習意欲を高める授業づくり

「自己決定」のある授業や単元を構成し、主体的に問い続ける子どもを育成する。

コの字型座席配置やペア・グループ活動中心の授業を推進し、聴き合い・学び合う関係を育成する。

2. 家庭学習の習慣化と、授業と家庭学習をつなぐ取組の推進

「授業で学んだことを振り返る」「授業で疑問に思ったことを調べる」「授業で学んだことを保護者に伝える」等、タブレット端末を有効に活用し、授業と家庭学習をつなぐ取組を進め、児童がより意欲的に家庭学習に取り組めるようにする。

3. 「ふるさと晴嵐」地域学習の充実

双方向の「ふるさと晴嵐」地域学習を充実させ、児童が地域への愛着や誇りを持つことができるようにするとともに、探究的な学習活動の活性化を図る。